

## 消耗品・別売品のお買い求めについて

揚水パイプおよび各部パッキン類は消耗品です。(熱や蒸気にふれるため、ご使用にともない傷んでくる場合があります。)

6ヵ月～1年を目安にご確認ください。  
破損や汚れが目立ってきたり、ゆるくなってきたら、以下のいずれかでお買い求めの上、交換してください。  
消耗品・別売品の保有期間は、製造打ち切り後10年です。

- お買い上げの販売店
- タイガーお客様ご相談窓口(下記「連絡先」参照)
- 消耗品・別売品のご購入サイト  
(下記「連絡先」参照)

品名	品番
カバーパッキン	PNM 1259
口先パッキン	PNM 1156
パイプパッキン	PAF 1035
揚水パイプ(樹脂製)*1 2.2タイプ用	PNM 1793
揚水パイプ(樹脂製)*1 3.0タイプ用	PNR 3941
揚水パイプ(ステンレス製)*2 2.2タイプ用	PNM 1142
揚水パイプ(ステンレス製)*2 3.0タイプ用	PNM 1301

\*1 口先パッキンつきです。

\*2 口先パッキン・パイプパッキンつきです。

## 仕様

サイズ	2.2タイプ	3.0タイプ
実容量	2.2L	3.0L
保温効力(10時間)	76度以上	78度以上
保冷効力(10時間)	7度以下	7度以下
外形寸法* (幅×奥行×高さ)	18.3×24.3×32.3cm	18.3×24.3×36.7cm
質量*	PNM-G, S型 : 1.7kg PNM-H, T型 : 1.6kg	1.8kg

\*おおよその数値です。

※保温効力とは、室温20度±2度において製品に熱湯を満し、湯温が95度±1度のときから10時間放置した場合におけるその湯の温度です。

※保冷効力とは、室温20度±2度において製品に冷水を満し、水温が4度±1度のときから10時間放置した場合におけるその水の温度です。

※実容量とは、製品の上ぶたをしたときに、実際に入る容量です。「安全上のご注意」に記載している「少なめ容量」ではありません。

**連絡先** **タイガー魔法瓶株式会社** 本社  
〒571-8571 大阪府門真市速見町3番1号

使いかた・修理のご相談 **お客様ご相談窓口**

ナビダイヤル  
(全国共通番号)



**0570-011101**

有料でご案内させていただきます。

※ナビダイヤルをご利用いただけない場合はこちらへ

**TEL(06)6906-2121**

●受付時間 AM9:00～PM5:00 月曜日～金曜日(祝日・弊社休業日を除きます)

**消耗品・別売品のご購入サイト**

<https://www.tiger-shop.jp/>



ホームページアドレス <https://www.tiger.jp/>  
※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。

## お問い合わせについて

品質管理には細心の注意をはらっておりますが、万一製品が不具合なときは、P.6をご覧ください。それでも不具合のある場合は、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口へ次のことをお知らせの上、ご相談ください。

- ①製品名
- ②品番
- ③製品の状況(できるだけ詳しく)
- ④購入日

また、製品に関するご質問などもお気軽にお問い合わせください。

※本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上のために一部予告なく変更することがあります。

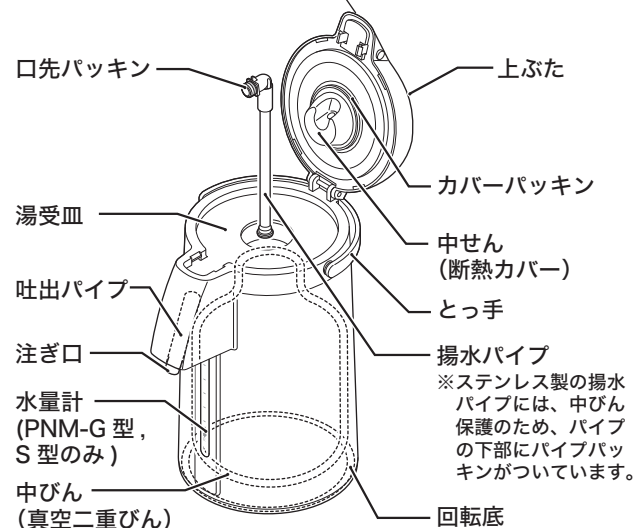
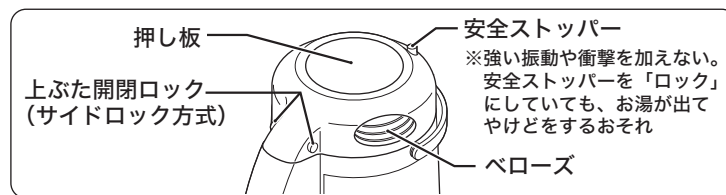
**TIGER**

# タイガーエアポット <とら~ず>

## 取扱説明書

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。  
ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。  
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

## 各部のなまえ



# 安全上のご注意

乳幼児の手の届くところには置かない。

また、いたずらに注意する。

やけど・けがなどのおそれ。



倒したり、落としたり、ぶついたり、強い振動(特に上下の振動)、衝撃を加えない。

押し板の安全ストッパーがロック(出ない)状態になっていても、やけど・中びん破損・内容物がこぼれるおそれがあるので注意する。

コンロやストーブなど、火気の近くや、直射日光の当たる場所では使わない。

やけど・変形・変色の原因。

自動車の中では使わない。

転倒・やけど・汚れの原因。

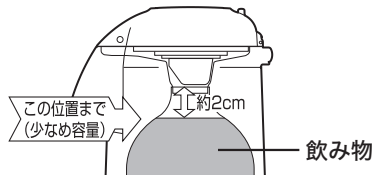
急熱、急冷しない

冷たいものを入れた直後に熱いものを入れたりその逆は、中びん破損の原因。

飲み物の保温・保冷以外に使わない。

飲み物の量は、図の位置までにする。

入れすぎると、ふたを閉めるときにあふれて、やけど・汚れの原因。



肩部分に熱いやканをあてない。

転倒して、やけど・けが・傷や変形のおそれ。



揚水パイプで氷をかき混ぜたり、氷を入れたポットを強くゆすったりしない。

中びん破損の原因。

ドライアイス・炭酸飲料などは入れない。

内圧が上がり、内容物が吹き出るおそれ。

牛乳・乳飲料・果汁などは入れない。

腐敗・変質の原因。

また、そのまま長く放置した場合、腐敗・変質によりガスが発生して本体の内圧が上がり、内容物が吹き出て、けがなどのおそれ。

お茶の葉・果肉などは入れない。

目づまりし、注ぎ口からしずくが落ちて、やけどのおそれ。

麦茶、紅茶などを入れる場合は充分こしてから入れる。

お湯が少なくなった状態での使用は注意する。

注ぎ口からお湯が飛び散るおそれ。

持ち運ぶときは、

●安全ストッパーを必ず「ロック」にし、振動(特に上下の振動)を加えない。

●とっ手を持って運ぶ。

●テーブルなどに置くときは、そっと置く。

お湯が出て、やけど・汚れの原因。

残り湯をすてるときは、揚水パイプを取りはずし、上ぶたを支え、注ぎ口を横に向けてすてる。

注ぎ口を下に向けてすてると、注ぎ口からお湯が出て、やけど・他のもを汚す原因。また、揚水パイプをはずさないですてると、肩の内部に飲み物が入り、肩からしみ出してくるおそれ。

分解・修理はしない。

故障や事故の原因。

# 使いかた

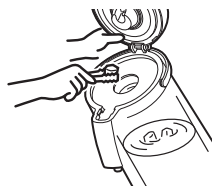
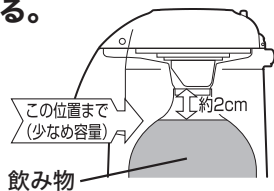
## 1 上ぶたを開ける。

- ① 安全ストッパーを「ロック」にする。
- ② 上ぶた開閉ロックを指でつかんで、上ぶたを開ける。
- ③ 揚水パイプが取り付けられているのを確かめる。



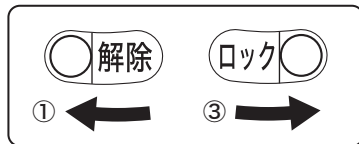
## 2 熱い(冷たい)飲み物を入れ、上ぶたを閉める。

- ① 飲み物は、入れすぎないように右図の位置までにする。
- ② 上ぶたを確実に閉める。  
※ 保温(保冷)効果を高めたいときは、少量の熱湯(冷水)を入れ、1~2分予熱(予冷)する。予熱後はそのお湯をすて、新しいお湯を入れる。  
※ 氷を入れるときは、先に飲み物を入れ、小さく砕いた氷を、ポットを傾けてすべらせるように入れる。  
※ 熱いお茶を入れると、お茶の色が変わることがあるので急須などを使用する。



## 3 飲み物を注ぐ。

- ① 安全ストッパーを「解除」にする。
- ② 容器を注ぎ口に近づけ、押し板のまん中をゆっくりと押す。  
※ 注ぎ口からしずくが落ちることがあります。(特に、吐出パイプが汚れてきた場合) そのときは、しずくが落ちきるのを確認してから容器をお取りください。
- ③ 注ぎ終わったら、安全ストッパーを必ず「ロック」にする。
- ④ 使い終わったら、残った飲み物をすててお手入れする。  
※ 飲み物を長期間入れたままにしない。各部や水量計の汚れ・においの原因。



# お手入れのしかた

- ◆ 使用後は、必ずその日のうちにお手入れする。
- ◆ 洗剤は、家庭用の台所用合成洗剤(食器用・調理器具用)を使う。
- ◆ スポンジ・布はやわらかいものを使う。

揚水パイプ 吐出パイプ	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、スポンジを使って洗い、十分にすすぐ。</li> <li>② 吐出パイプ内部は、洗剤を含ませた布をワリバシに巻きつけ、ふき取る。</li> <li>③ 揚水パイプ内側は、本体(パイプセット状態)に洗剤をうすめたお湯を入れ、押し板をくり返し押して、お湯を全部出し、すてる。</li> </ol>
中びん カバーパッキン	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、スポンジを使って洗い、水で十分にすすぐ。</li> <li>② 十分に乾燥させる。</li> </ol> <p>※ フレークス発生の場合は、P.5を参照</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>においを防ぐために</p> </div> <p>ご使用前や、お湯以外のもの(お茶など)を入れた後は、熱湯を入れて注湯をくり返し、充分にお手入れすると、においを防ぎ、清潔にご使用いただけます。</p>
本体 上ぶた	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 布を、洗剤をうすめたお湯にひたし、かたくしぼってふく。(丸洗いしない。)</li> <li>② 乾いた布で洗剤分をふき取り、十分に乾燥させる。</li> </ol>

## ご注意

- 本体の丸洗いをしない。
- シンナー類・クレンザー・漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・ナイロンたわしなどは使わない。
- 食器洗浄機や食器乾燥器などを使わない。
- 煮沸しない。(パッキンは除く)
- 揚水パイプ・パッキン類は必ず取りつける。→P.5
- 長期間使わないときは、充分に汚れを落とし、乾燥させ、湿気の少ない場所に保管する。
- 揚水パイプを着脱するときは、中びんにあてないよう注意する。

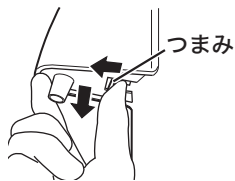
# お手入れのしかた

## 吐出パイプのはずしかた・つけかた

※ 必ず安全ストッパーを「ロック」にしてから、行ってください。

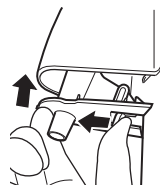
### はずしかた

吐出パイプのつまみを手前に引き、下へはずす。



### つけかた

下から確実に差し込む。



## 揚水パイプのはずしかた・つけかた

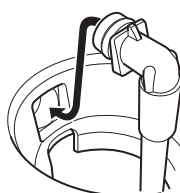
### はずしかた

揚水パイプの上部をつかんで、ゆっくりと引き抜き、まっすぐ上に持ち上げる。



### つけかた

揚水パイプの上部に確実に差し込む。



※ ステンレス製の揚水パイプの下部にはパイプパッキンがついています。必ず取りつけて使用してください。

## キラキラ光るものが中びんに付着したときのお手入れ

中びんにお湯を入れておくと、キラキラ光るものを見つけることがあります。これは「フレークス」と呼ばれ、お湯の中に溶け込んでいるミネラルの成分が化合して、ガラスびんの内壁に薄い膜を作り、これがはがれて浮遊したものです。フレークス自体は、健康上有害なものではありませんが、もし発生した場合、以下の手順でお手入れしてください。

- ① 食酢をぬるま湯で約10%にうすめて中びんに入れる。または、クエン酸(約10g)をぬるま湯でうすめて中びんに入れる。  
(食酢とクエン酸は同時に使わない。)
- ② 2～3時間後にやわらかいブラシできれいに洗い、水で充分にすすぐ。
- ③ 充分に乾燥させる。  
※クエン酸は、お近くのスーパーや薬局でお買い求めください。  
※ときどき同じ方法でお手入れをしていただくとう�효的です。

## パッキンにおいがついたとき

内容物によっては、そのにおいがパッキンに付着することがあります。その場合、パッキンを30分程度煮沸すると、においが少なくなります。それでも気になる場合は別売りのパッキンをお買い求めください。

# 不具合が生じたときは

## こんなとき

お湯が出ない。出にくい。

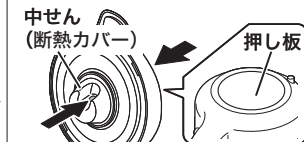
## ご確認ください

カバーパッキンが、はずれていませんか。

揚水パイプがはずれていませんか。または確実に取り付けられていますか。

揚水パイプがつまっていませんか。破損していませんか。

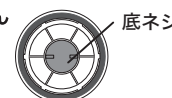
ベローズ(→表紙)が損傷していませんか。



※中せんの穴に指をあて、押し板を押し最後まで下がるようでしたら、ベローズが損傷しています。

吐出パイプの中に異物がつまっていますか。

底ネジがゆるんでいませんか。(PNM-H型、T型のみ)



お湯が冷めやすい。  
※保温効果は、沸とうしたお湯をできるだけ多く入れる程、高くなります。

上ぶたがきっちりと閉まっていますか。

熱湯を入れ、30分後に本体をさわって、温かくなっているか確認してください。

樹脂部品の一部に線状や波状のように見える箇所がある。

樹脂成形時に発生する跡で、使用上の品質に支障はありません。

揚水パイプが劣化した。

水道水に含まれるミネラル成分やお湯の熱により、樹脂が劣化することがあります。

## 直しかた

確実に取りつける。→表紙

確実に取りつける。→P.5

揚水パイプの先へ、水道水を勢いよく流し込む。破損している場合、新しいものをお買い求めの上、交換してください。→裏表紙

修理が必要ですので、お買い上げの販売店へご相談ください。→裏表紙

異物を取りのぞく。→P.4

ポットのお湯を全部出してから、ポットを逆さにし、底ネジを時計回りにまわしてしてください。

確実に閉める。→P.3

中びんが損傷しておりますので、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。→裏表紙

揚水パイプは消耗品ですので、新しいものをお買い求めの上、交換してください。→裏表紙